

森六
MORIROKU

**2022年3月期第2四半期
決算説明会**

東証1部 4249

森六ホールディングス株式会社

2021年11月17日

1. 2022年3月期 第2四半期の総括 P. 5
2. 2022年3月期 第2四半期の取り組み P. 9
3. 2022年3月期 第2四半期決算 P. 17
4. 2022年3月期 見通し P. 30
5. 参考資料 P. 35

350年余の歴史を有する、日本最古参の**化学専門企業**

森六ホールディングス株式会社

森六テクノロジー株式会社

樹脂加工製品事業
自動車部品の「メーカー」機能

内装部品



外装部品



事業内容

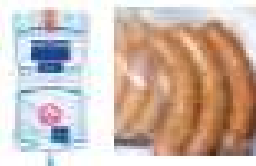
強み

- ホンダグループとの強固なネットワーク
- 世界4極での研究開発体制

森六ケミカルズ株式会社

ケミカル事業
化学分野における「商社」機能

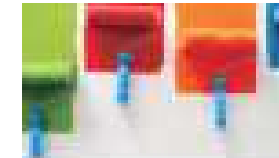
生活材料



ファインケミカル



コーティング



事業内容

強み

電気・電子



自動車材料



樹脂加工製品



- 「ものづくり」と「化学商社の知見」でグローバル展開
- 樹脂加工製品事業とのシナジー

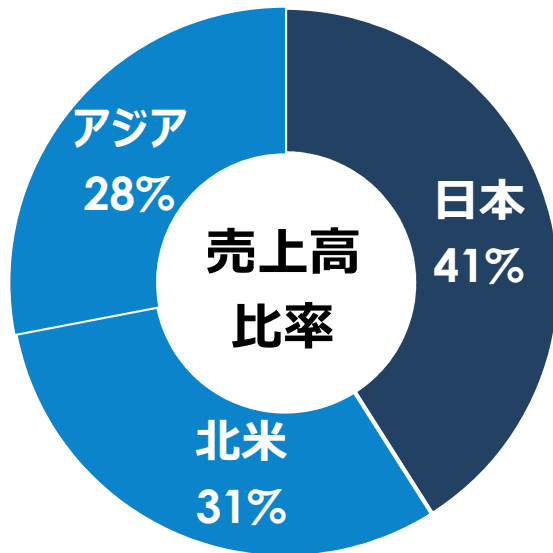
15か国、53拠点のグローバルビジネス

2021年3月期 売上高

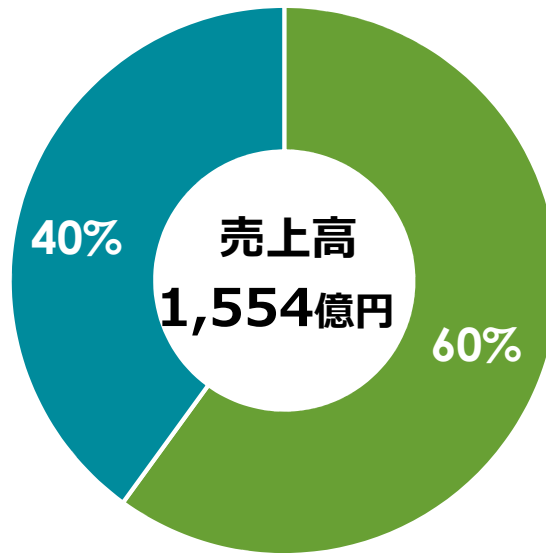
営業利益

所在地別

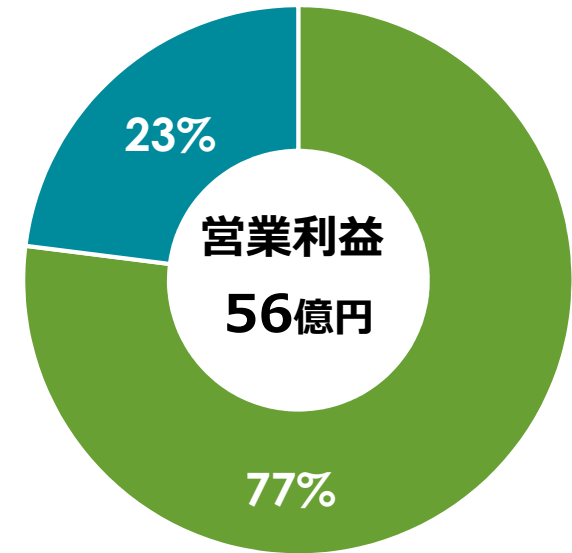
事業セグメント別



海外 6 : 国内 4




樹脂加工 6 : ケミカル 4



樹脂加工 8 : ケミカル 2

バランスの取れた地域ポートフォリオ

樹脂加工とケミカルの事業ポートフォリオ



1. 2022年3月期 第2四半期の総括

- ・売上高：半導体不足による減産影響があったが、コロナ禍からは回復傾向
- ・営業利益：需要回復による増販効果もあったが、半導体不足による減産の影響により減益
- ・当期純利益：投資有価証券売却益を特別利益に計上

(億円)

	20.3期 第2四半期 実績	21.3期 第2四半期 実績	22.3期 第2四半期 実績		
			前年同期比 増減額	増減率	
売上高	859	669	629 ※862	- ※192	- ※28.8%
営業利益	25	18	9	△ 8	△47.9%
経常利益	26	10	11	1	12.6%
親会社株主に帰属する四半期 純利益又は四半期純損失	13	△ 14	24	38	-

※は「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の売上高（参考）となります。

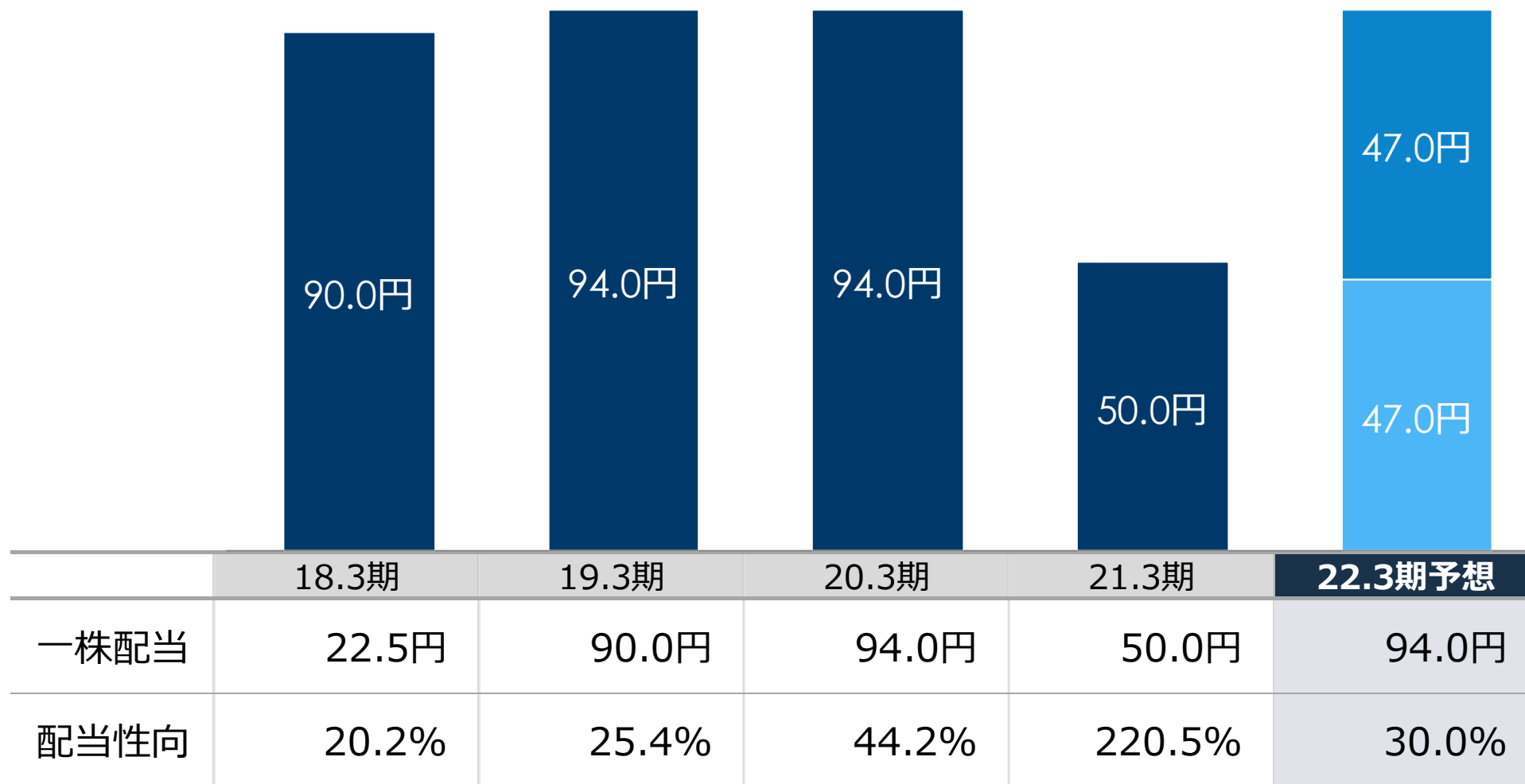
- ・上期の実績や直近の生産状況を考慮し、11/12付で業績予想を修正
- ・当期純利益は期初予想を堅持

(億円)

	21.3期 実績	22.3期 期初予想	22.3期 修正予想	期初予想 増減額	増減率
売上高	1,554	1,430 ※1,850	1,360 ※1,780	△ 70 -	△4.9% -
営業利益	56	81	30	△ 51	△63.0%
経常利益	55	80	32	△ 48	△60.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3	52	52	-	-

※は「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の売上高（参考）となります。

将来への投資や内部留保のバランスを考慮しながら、安定的・継続的な配当を実施
10億円（60万株）を上限に、自社株買いも実施予定（2021年12月1日～2022年11月30日）





2. 2022年3月期 第2四半期の取り組み

上期は日本、北米、アジアで主要顧客の生産調整が発生
下期は部品不足の長期化による不透明感と、挽回生産のきざし

<各国の生産状況>

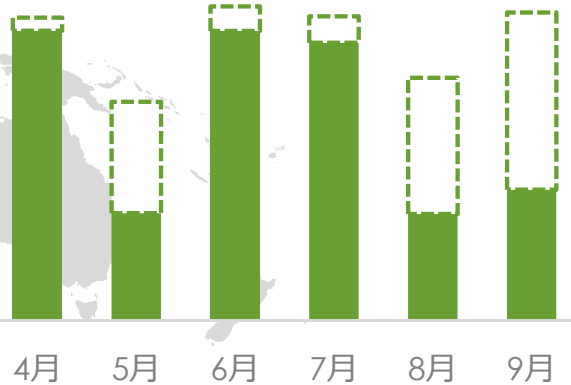
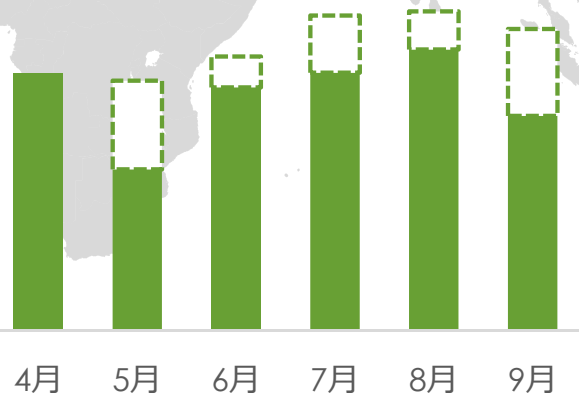
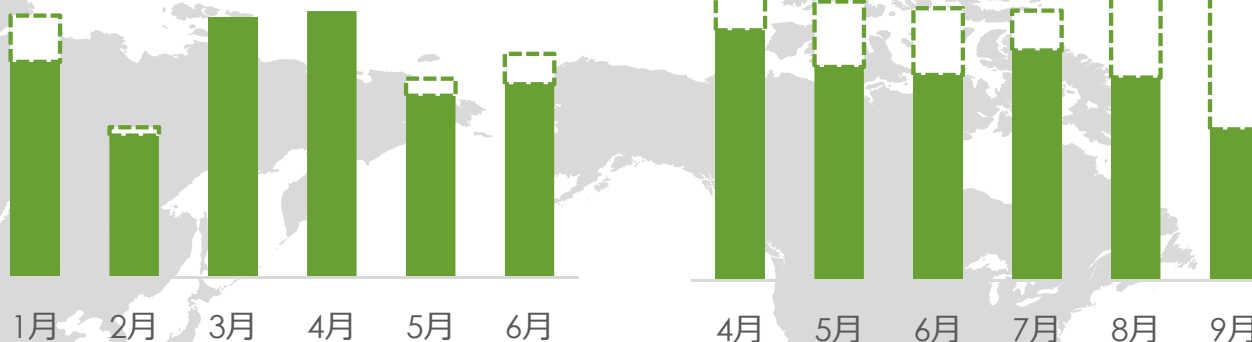
□ 計画 ■ 実績

中国 計画比
微減

北米 計画比
3割の減産

アジア 計画比
2割の減産

日本 計画比
3割の減産



樹脂加工製品事業：需要変動に追従するフレキシブルな生産体制

- ・生産ロス最小化のための生産方法と体制強化
- ・自動化、省人化の加速と多能工化

ケミカル事業：中計3本柱を継続

- ・ものづくりの強化、選択と集中、グローバル事業強化



アフターコロナを見据えた環境づくり

- ・生産部門：感染防止を継続（クラスター対策）
- ・オフィス部門：オフィス出社と在宅勤務を最適バランスさせたハイブリッド勤務（リモートブース設置）
リモートワークのメリット追求（海外開発拠点の支援、リモート監査）

サステナビリティ推進プロジェクトの稼働

- ・ソーラーパネル設置やEVの導入など先行着手
- ・従業員への教育や意識づけ、来期に向けた土壌づくりを推進
- ・エッセンスを13次中期経営計画（2023.4～2025.3）に落とし込み

生産体質強化施策

分類	取り組み	
品質向上	良品率改善による仕損ロス削減 (優先工程の改善活動)	 <p>①画像撮影 ②RAPID機械学習で可否を判別 ③装置へ結果送信 ④装置で選別 良品 不良品</p>
	品質保証度向上 (AI検査、IoT設備管理)	
生産効率向上	多品種少量でもロスを最小化するための 生産方法の構築	AIによる画像検知システム
	設備の最大活用と多能工化	 <p>AGV (自動搬送機) の活用</p>
省人化	生産変動に追従した汎用自動化ライン	
	AGV活用による工場内物流改善	

高効率・低コスト体質を構築し競争力を向上させる

新型VEZEL において主要部品を多数受注

■ HONDA 新型VEZEL (2021年4月発売)

外装部品



フロントバンパーロア



リアバンパーロア

内装部品



センターコンソール

ポイント

- 表皮巻き部品など、高付加価値部品を含め、旧モデルに比べて受注部品数がアップ

今後の展開

- 派生車種がグローバルに発売される予定
- いずれの地域でも高い原単位を確保

CO₂フリー電力購入やソーラーパネルなど、再生可能エネルギーを導入

日本

導入に向けて準備中

関東工場、鈴鹿工場、
真岡開発センター

- ・CO₂フリー電力購入、
- ・太陽光発電設備導入



インド

NEW

21年10月稼働



タイ

20年10月稼働



中国（広州）

21年6月稼働



グループ全体で、フードロス削減に向けた取り組みを強化

中国（広州）



- 社食の事前申請システムを導入
廃棄量を約 3 割削減

日本



- 社員食堂にフードロス削減の啓蒙ポスターを掲示

環境への意識づけを行い、サステナビリティ経営に向けた土壌づくりを推進

五興化成工業株式会社が8億円強の成長投資を決定

【事業内容】

- ・化学品の合成受託、自動車用機能材の製造
- ・森六ケミカルズの「ものづくり機能」の中核、グループで唯一化学合成が可能

今回の投資

① 研究開発の強化 2020.12～2021.2

- ◆ 研究室の増築
- ◆ 技術開発部の立ち上げ

研究室の様子 ▶



② 設備の更新 2021.9～2023.4

- ◆ 反応建屋の建設および反応釜の更新
- ◆ 乾燥・粉碎建屋の建設

今後のビジネス展開

① オリジナル商品の開発

オリジナルレシピによる自動車、電機電子関連の新素材を1-2年のうちに開発予定

② 受託領域の拡大

従来できなかった化学合成領域も受託可能に

工事の様子 ▶



5年後（2026年）に売上2倍を目指す

A grayscale photograph of a car's interior, showing the steering wheel with the Honda logo, the dashboard, and the center console. The image is semi-transparent, allowing the text to be overlaid.

3. 2022年3月期 第2四半期決算

- ・売上高：半導体不足による減産影響があったが、コロナ影響は回復傾向
- ・営業利益：需要回復による増販効果もあったが、半導体不足による減産の影響により減益
- ・当期純利益：投資有価証券売却益を特別利益に計上

(億円)

	21.3期 第2四半期 実績	22.3期		
		第2四半期 実績	増減額	増減率
売上高	669	629 ※862	- ※192	- ※28.8%
営業利益	18	9	△ 8	△47.9%
営業利益率	2.7%	1.5%	-	-
経常利益	10	11	1	12.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は四半期純損失	△ 14	24	38	-
EPS(円)	△88.90円	146.01円	234.91	-
一株配当(円)	20.0円	47.0円	27.0	135.0%
為替(円/\$)【期中平均】	106.9円	109.8円	2.9	2.7%
klあたりナフサ価格(円/kl)【期中平均】	27,600円	50,600円	23,000	83.3%

※は「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の売上高（参考）となります。

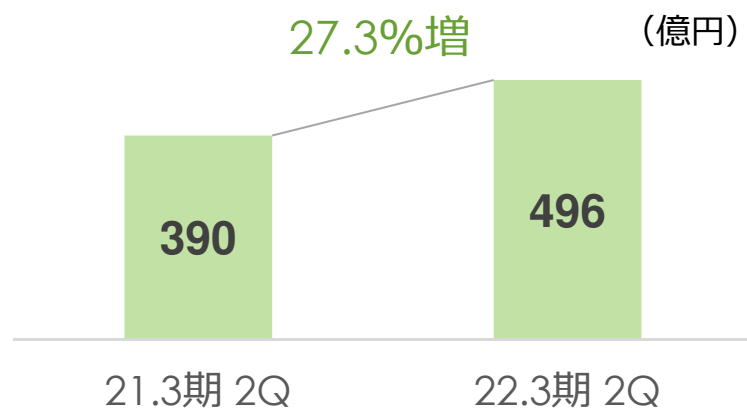
- ・樹脂加工製品事業：コロナからの回復が進むも、半導体不足による減産の影響により減益
- ・ケミカル事業：ナフサ価格の上昇に加えて、化学品の需要は回復基調

(億円)

	21.3期 第2四半期 実績	22.3期		
		第2四半期 実績	増減額	増減率
売上高	669	629 ※862	- ※192	- ※28.8%
樹脂加工製品事業	390	496 ※496	- ※106	- ※27.3%
ケミカル事業	279	132 ※365	- ※86	- ※30.8%
営業利益	18	9	△ 8	△47.9%
樹脂加工製品事業	15	1	△ 14	△92.7%
ケミカル事業	3	9	5	132.7%

※は「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の売上高（参考）となります。

売上高



主な要因

日本

- 新車投入効果もあり、前期比で収益は改善したが、半導体影響により、2Qは1Q比減益

北米

- 半導体不足による減産に加え、挽回生産に備えた人員維持のため労務費負担が重く、収益悪化
- メキシコでは新機種立上げによるコスト増

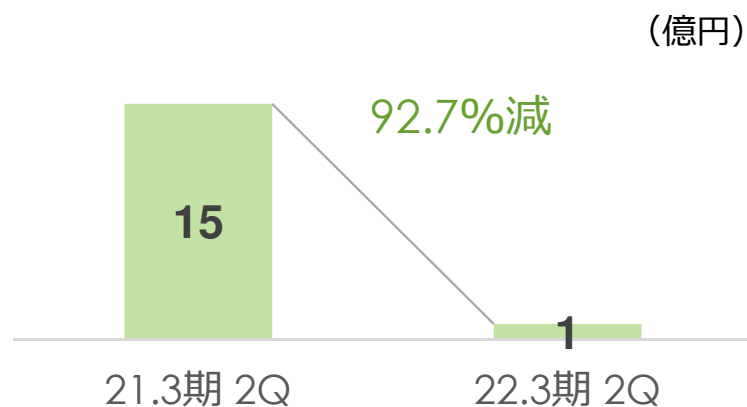
中国

- 需要は回復したものの、半導体不足による減産影響により減益

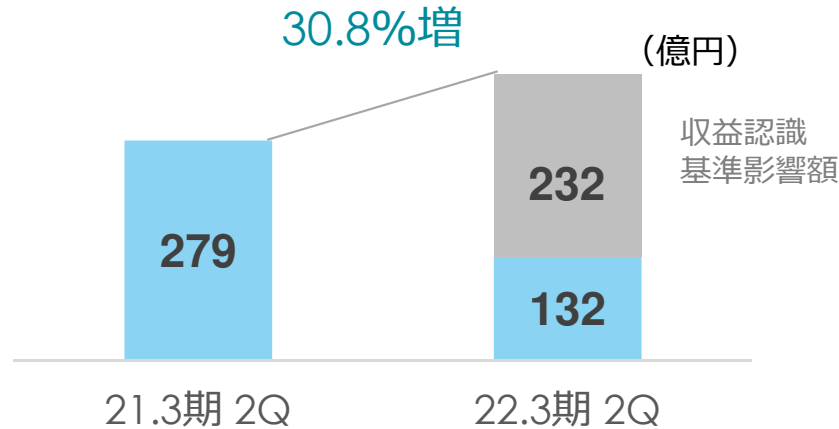
アジア

- コロナによるロックダウンで自動車販売落込タイが回復し収益を牽引

営業利益



売上高



主な要因

モビリティ、コーティング

- 自動車向けの樹脂原料や塗料の販売が復調

ものづくり

- コロナからの正常化で、医療用高機能フィルムの販売が復調

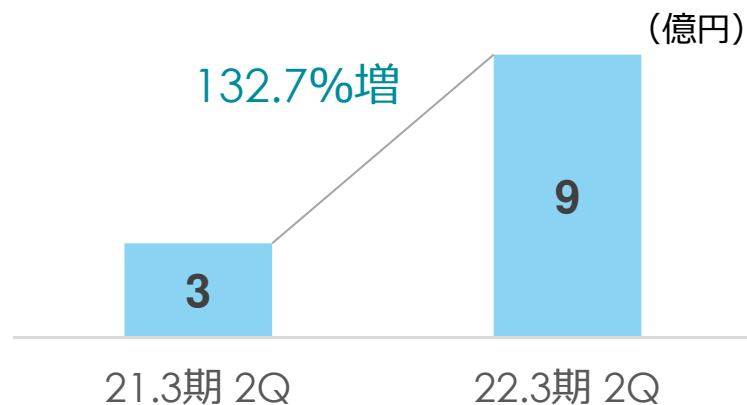
電機・電子

- ディスプレイや電子機器向け原料販売が好調

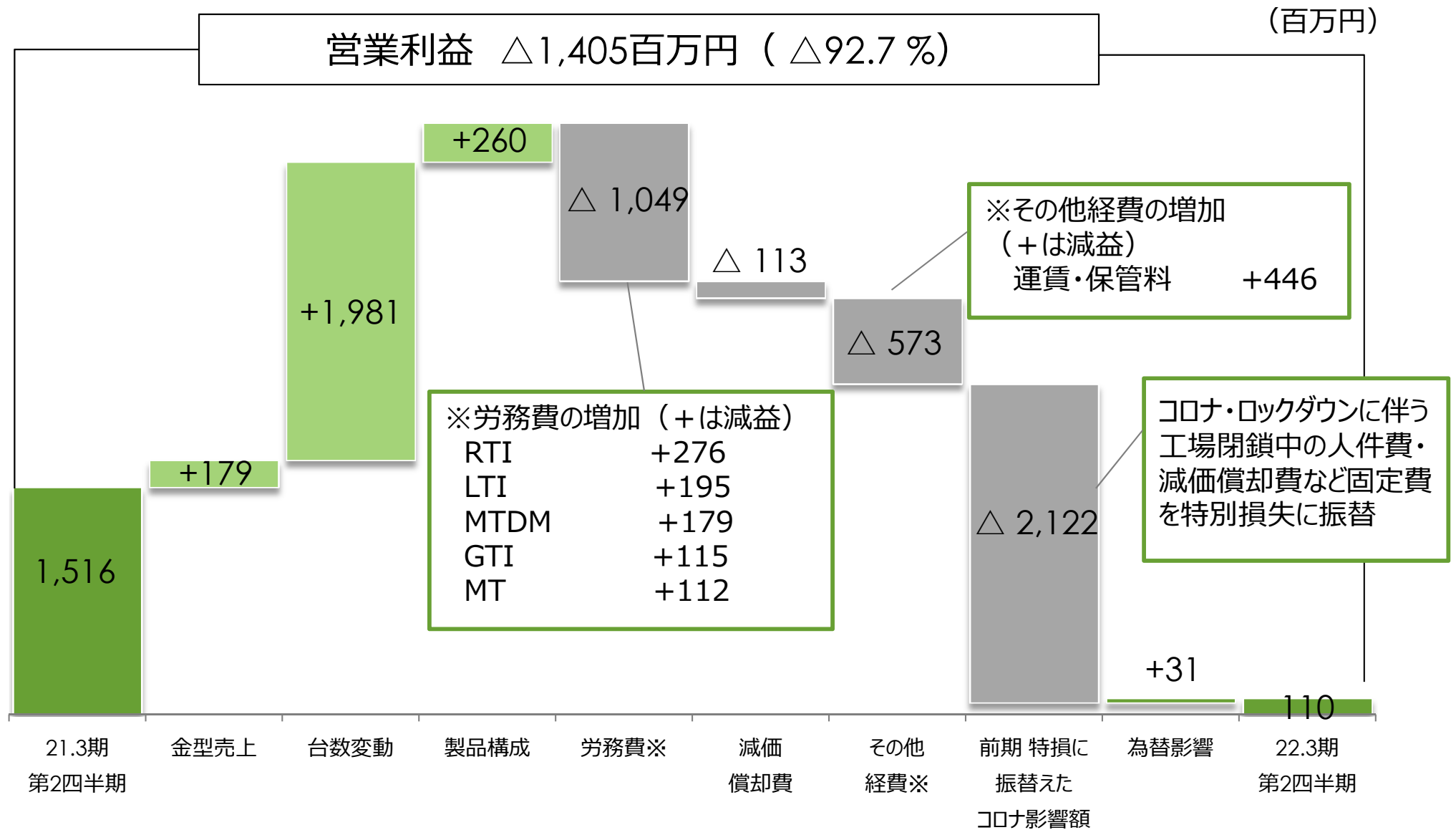
ファインケミカル、生活材料

- コロナ影響低減により、樹脂原料やフッ素原料等の販売が復調

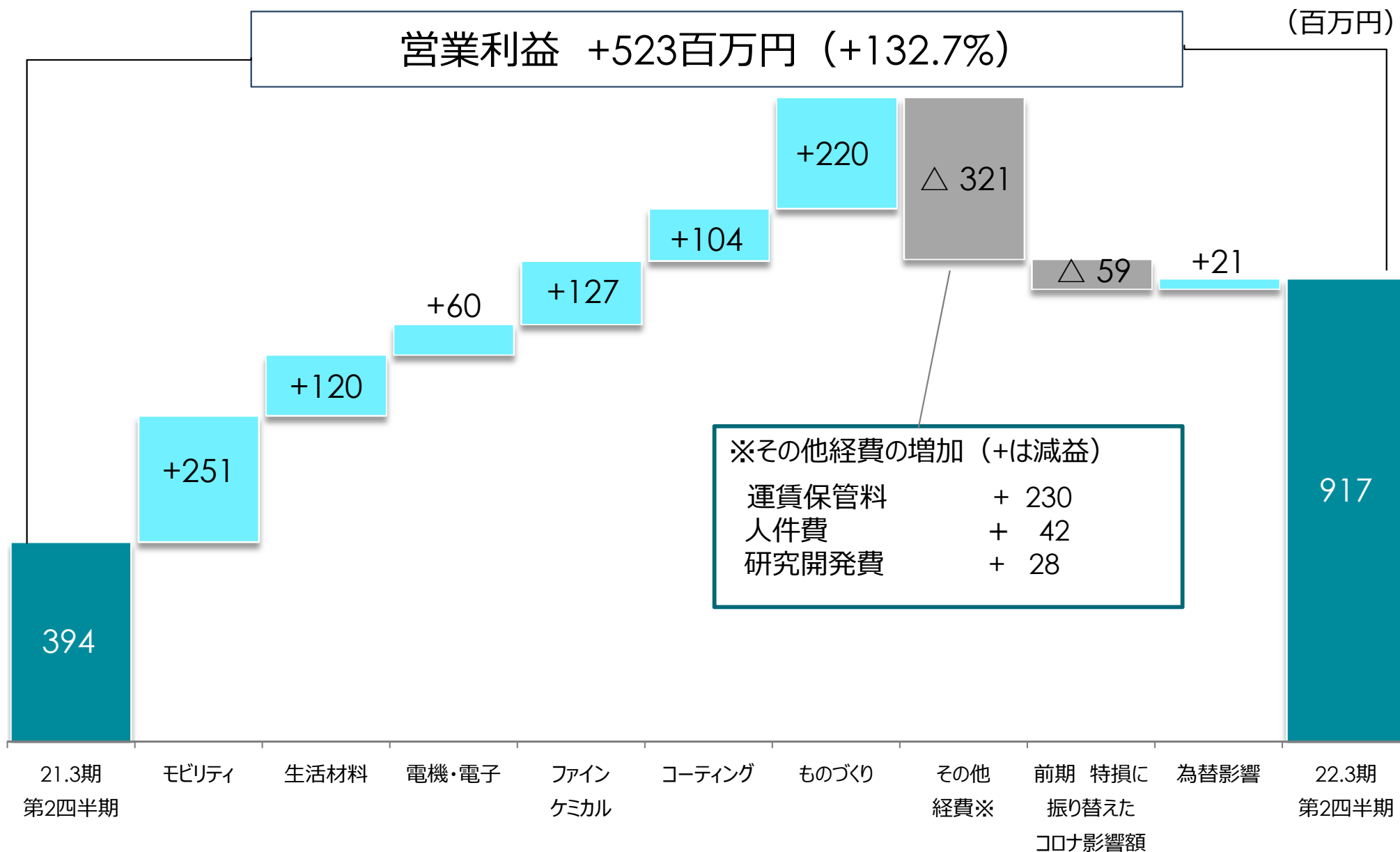
営業利益



台数・製品構成はプラス、労務費負担や前期のコロナ特別損失がマイナスに影響



すべての事業分野で増益、ナフサ価格上昇により+40百万円



2022年3月期 第2四半期決算 所在地別売上高・営業利益

売上高：すべての地域で前年同期を上回って推移

営業利益：国内は増益、海外は減益

(億円)

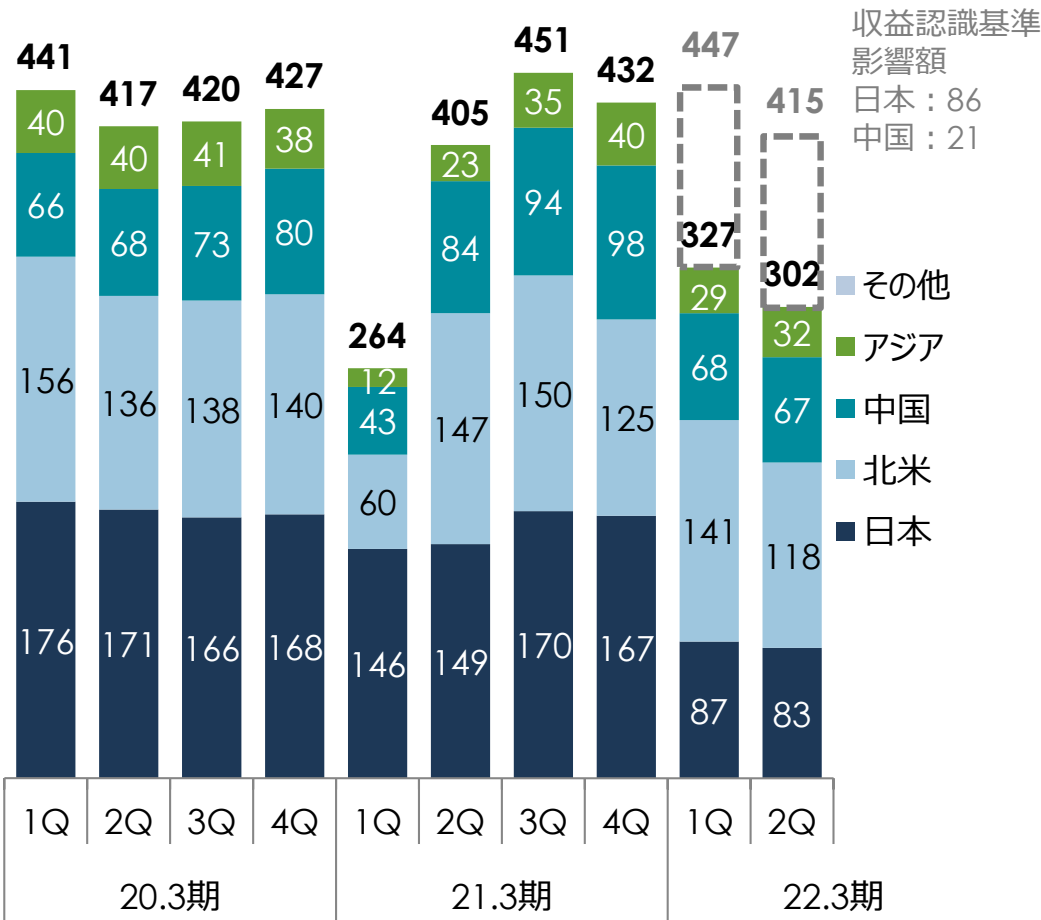
	21.3期 第2四半期		22.3期 第2四半期			増減額	増減率
		構成比率		構成比率	※旧基準		
売上高 計	669	100.0%	629	100.0%	862	192	28.8%
日本	296	44.2%	171	27.3%	351	55	18.8%
海外	373	55.8%	458	72.7%	510	136	36.7%
北米	208	31.1%	260	41.3%	265	56	27.2%
中国	128	19.1%	135	21.5%	176	48	37.7%
アジア	36	5.4%	62	9.9%	67	31	87.5%
その他	0	0.1%	0	0.0%	1	0	58.6%
営業利益 計	18	100.0%	9	100.0%	9	△ 8	△47.9%
日本	△ 3	△21.7%	3	38.8%	3	7	-
海外	22	124.7%	7	74.6%	7	△ 15	△68.8%
北米	3	17.0%	△ 9	△104.0%	△ 9	△ 13	△417.9%
中国	16	91.0%	13	139.1%	13	△ 3	△20.4%
アジア	2	16.3%	3	39.7%	3	0	26.8%
その他	0	0.3%	△ 0	△0.2%	△ 0	△ 0	△133.2%
調整額	△0	△3.0%	△ 1	△13.4%	△ 1	△ 0	-

※ 旧基準は「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の参考値となり、増減額および増減率は、前年実績と旧基準の比較を記載しています。

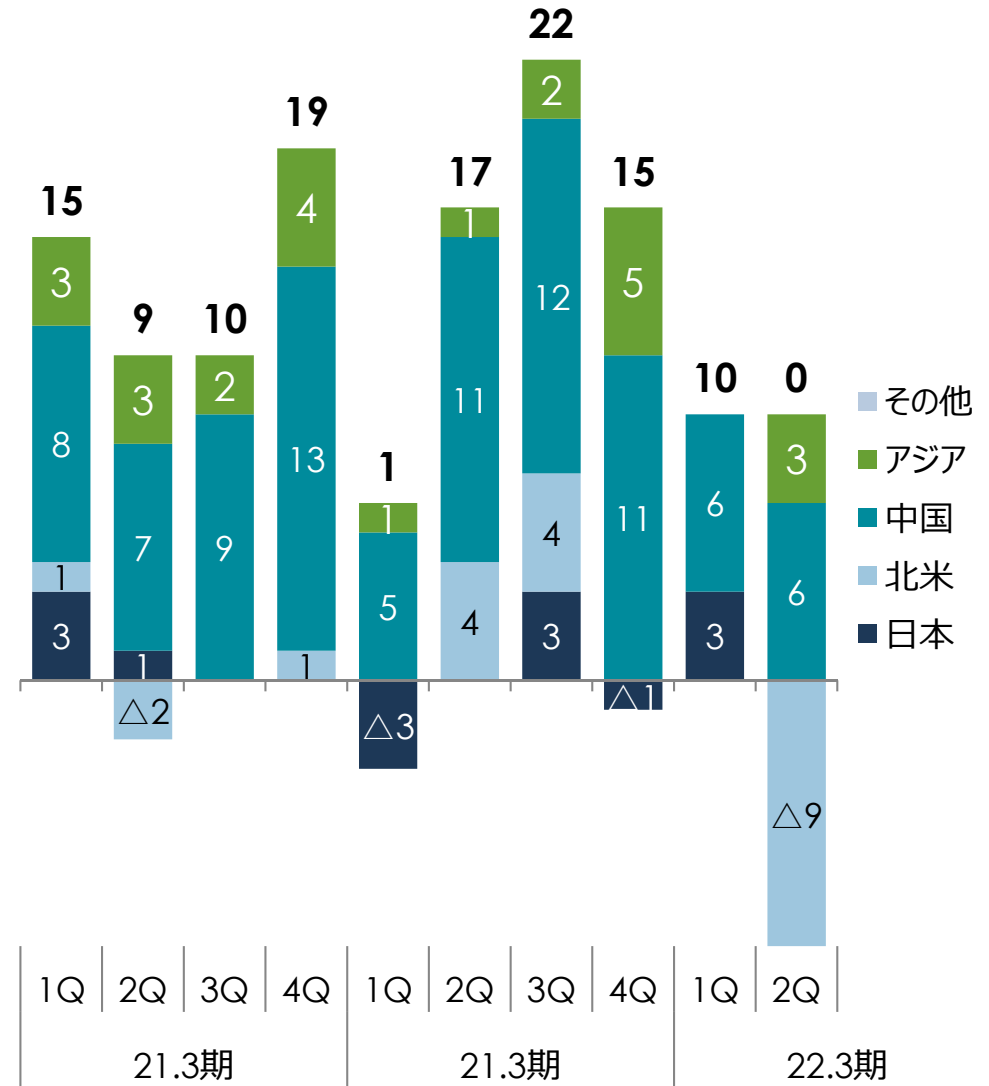
所在地別・四半期売上高、営業利益

北米：半導体不足による減産で労務費が重い中、メキシコの新機種立上げコスト増が加わり赤字

所在地別・四半期売上高（億円）



所在地別・四半期営業利益（億円）



2022年3月期 第2四半期決算 貸借対照表（概略）

減産による売上減により、売上債権が減少、在庫は増加
 政策投資株式の縮減により、投資有価証券が減少、現預金が増加
 自己資本比率は53.5%、引き続き、安定した財務基盤を維持

(億円)

	21.3期末	22.3期 第2四半期末	差額		21.3期末	22.3期 第2四半期末	差額
流動資産	673	689	15	流動負債	510	487	△ 22
（現預金）	179	205	26	（買入債務）	233	219	△ 14
（売上債権）	324	288	△ 36	（短期借入金）	188	192	3
（在庫）	134	157	23	固定負債	117	110	△ 6
固定資産	655	625	△ 29	（長期借入金）	46	47	1
（有形固定資産）	438	433	△ 4	負債合計	627	598	△ 29
（投資有価証券）	182	156	△ 26				
				純資産合計	701	717	15
資産合計	1,328	1,315	△ 13	負債純資産合計	1,328	1,315	△ 13
				借入金	234	239	5
				自己資本比率	51.8%	53.5%	1.7pt

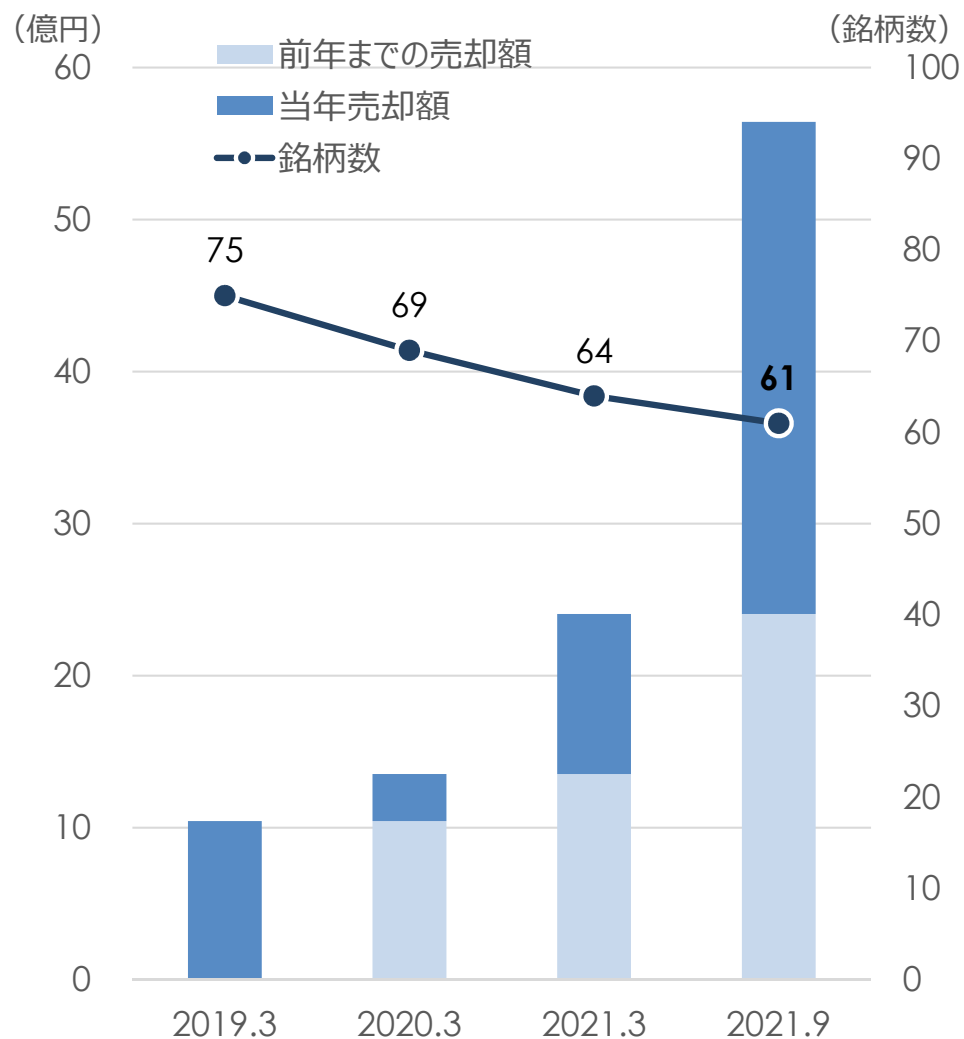
営業キャッシュフローは減少したが、投資有価証券売却37億円により投資キャッシュフローはプラスに
フリーキャッシュフローのプラス拡大、現預金を積み増し

(億円)

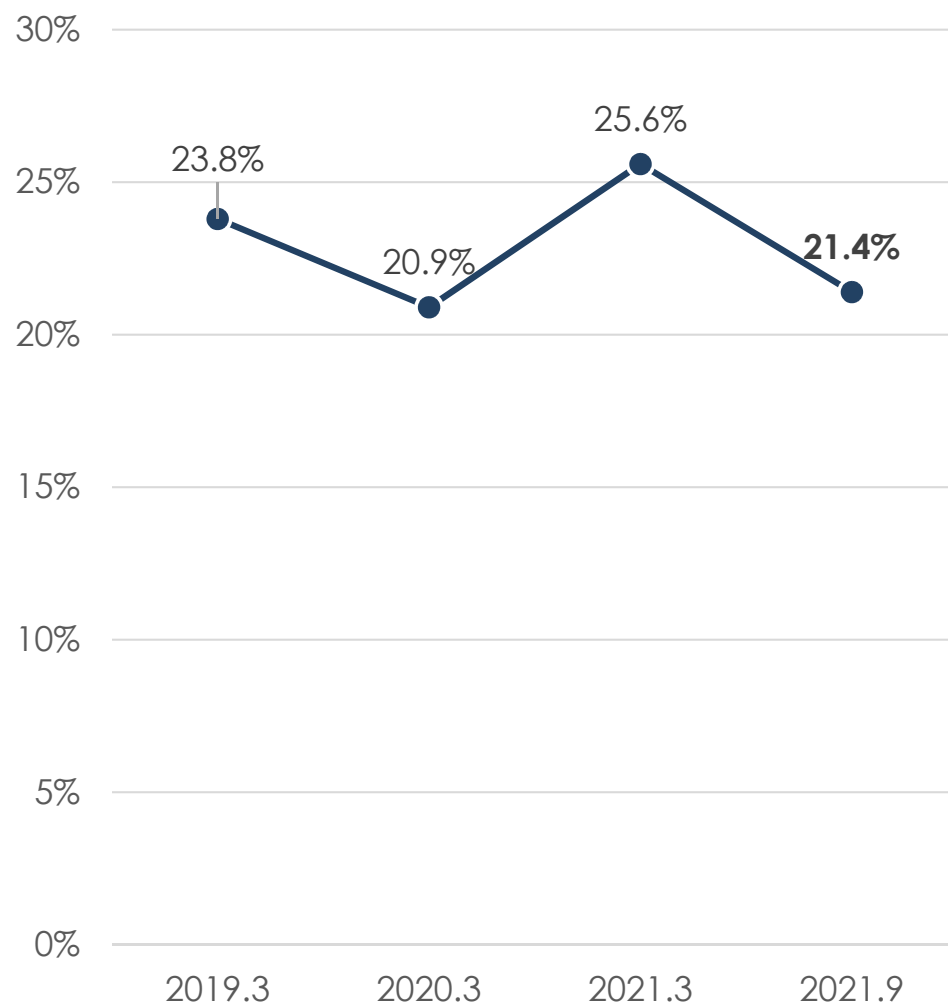
	21.3期 第2四半期 実績	22.3期 第2四半期 実績	差額
営業活動によるキャッシュフロー	44	21	△ 22
投資活動によるキャッシュフロー	△37	6	43
フリーキャッシュフロー	6	27	20
財務活動によるキャッシュフロー	50	△ 5	△ 56
現金及び現金同等物の増減額	55	26	△28
現金及び現金同等物期末残高	171	205	33

2022年3月末までに投資有価証券残高を純資産対比20%未満に縮減計画
 売却代金は、将来の成長や地球環境に配慮した設備投資へ充当

保有銘柄数と政策保有株式の累計売却額

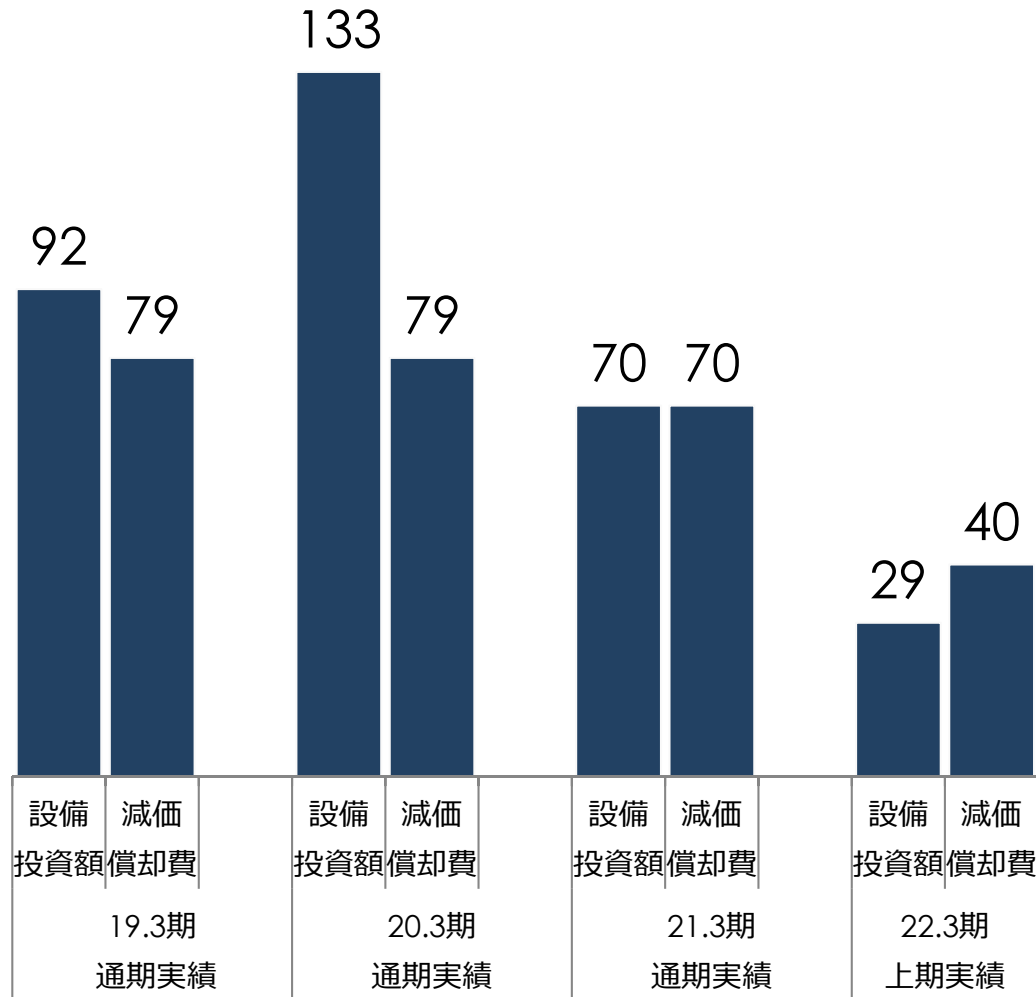


政策保有株式の純資産対比

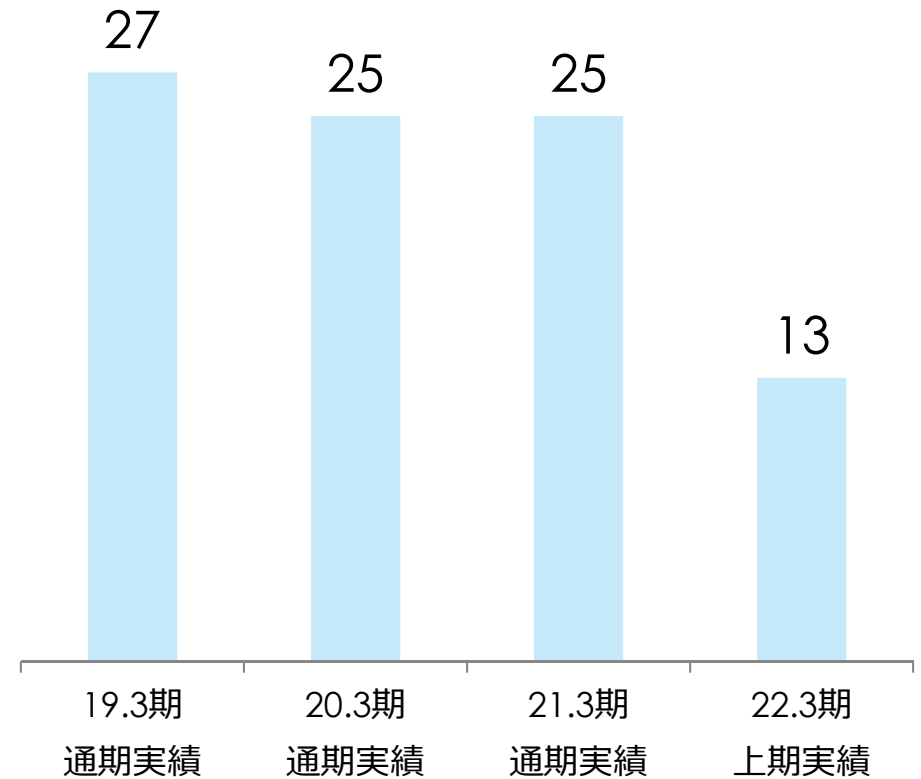


大型設備投資は一巡、研究開発費は横這い

設備投資額・減価償却費(億円)



研究開発費(億円)



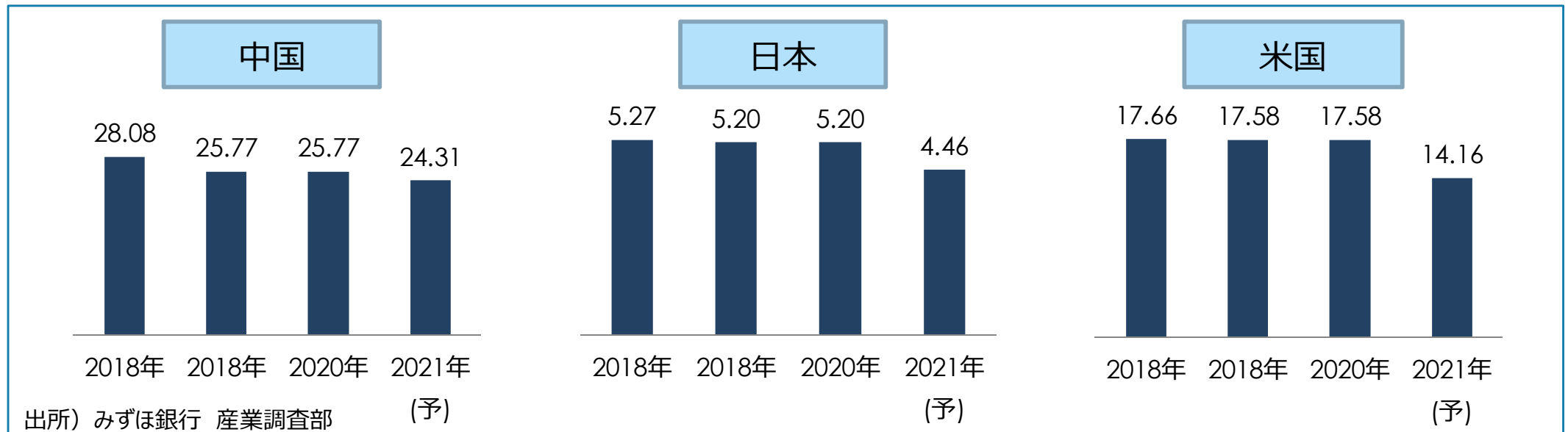
4. 2022年3月期 見通し



■ 想定為替レート

	21.3期 通期実績	22.3期 通期予想
為替(円/\$) 【期中平均】	106.1円	113.0円
為替(円/中国元)【期中平均】	15.5円	17.5円
klあたりナフサ価格(円/kl)【期中平均】	31,300円	56,000円

■ 主要市場での自動車販売台数推移 (百万台)



- ・売上高、営業利益、経常利益について、11/12付で期初予想を修正
- ・半導体供給不足による減産影響を、政策投資株式縮減に伴う売却益でカバーした形
- ・当期純利益は期初予想から変更なし

(億円)

	21.3期 実績	22.3期		通期予想	前期比 増減額	増減率
		上期実績	下期予想			
売上高	1,554	629 ※862	730 ※917	1,360 ※1,780	- 225	- 14.5%
営業利益	56	9	20	30	△ 26	△47.1%
営業利益率	3.6%	1.5%	2.7%	2.2%	-	-
経常利益	55	11	20	32	△ 23	△42.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	3	24	27	52	48	-
EPS(円)	22.68円	146.01円	167.78円	313.79円	291.11	-
一株配当(円)	50.00円	47.00円	47.00円	94.00円	44.00	88.0%

※は「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の売上高（参考）となります。

樹脂加工製品事業は、年明けからの挽回生産を見込、人材育成、工程見直しの刈取り
ケミカル事業は、ナフサ価格高止まりの中、自動車向け樹脂、塗料などが堅調に推移

(億円)

	21.3期 通期実績	22.3期			増減額	増減率
		上期実績	下期予想	通期予想		
売上高	1,554	629 ※862	730 ※917	1,360 ※1,780	- ※225	- 14.5%
樹脂加工製品事業	933	496 ※496	548 ※548	1,045 ※1,045	- ※111	- 12.0%
ケミカル事業	621	132 ※365	182 ※369	315 ※735	- ※113	- 18.3%
営業利益	56	9	20	30	△ 26	△47.1%
樹脂加工製品事業	45	1	11	13	△ 32	△71.6%
ケミカル事業	13	9	9	19	5	36.7%

※は「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の売上高（参考）となります。

設備投資額・減価償却費及び研究開発費 見通し

設備投資：新機種立上げ金型 47億円、

環境投資（太陽光パネル、原料再生機、塗装、成形機電動化など） 24億円

減価償却費：概ね当初計画通り

研究開発費：概ね当初計画通り、環境商材（基材・塗料）、外装樹脂化

内装加飾の高付加価値化、大物外装向けホットスタンプ^o（メッキ代替）

(億円)

	21.3期 通期実績	22.3期 通期予想	増減額	増減率
設備投資額	70	105	35	50.9%
減価償却費	70	81	10	15.5%
研究開発費	25	27	1	6.2%



5. 參考資料

財務ハイライト①

【連結】	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期
売上高	172,224	170,005	182,177	189,554	170,773	155,460
YoY	6.9%	△1.3%	7.2%	4.0%	△9.9%	△9.0%
売上原価	151,436	149,212	157,633	164,813	149,556	136,092
売上総利益	20,788	20,792	24,543	24,740	21,217	19,367
YoY	—	0.0%	18.0%	0.8%	△14.2%	△8.7%
ratio	12.1%	12.2%	13.5%	13.1%	12.4%	12.5%
販管費	14,485	14,468	15,125	16,054	15,720	13,694
YoY	—	△0.1%	4.5%	6.1%	△2.1%	△12.9%
ratio	8.4%	8.5%	8.3%	8.5%	9.2%	8.8%
営業利益	6,303	6,323	9,417	8,686	5,497	5,672
YoY	—	0.3%	48.9%	△7.8%	△36.7%	3.2%
ratio	3.7%	3.7%	5.2%	4.6%	3.2%	3.6%
営業外収益	602	556	616	863	796	689
営業外費用	829	894	778	722	625	766
経常利益	6,076	5,985	9,256	8,827	5,668	5,595
YoY	△2.4%	△1.5%	54.6%	△4.6%	△35.8%	△1.3%
ratio	3.5%	3.5%	5.1%	4.7%	3.3%	3.6%
特別利益	59	92	160	1,003	480	1,878
特別損失	570	2,693	267	1,188	574	4,878
税前利益	5,565	3,384	9,149	8,642	5,574	2,596
YoY	△7.7%	△39.2%	170.4%	△5.5%	△35.5%	△53.4%
ratio	3.2%	2.0%	5.0%	4.6%	3.3%	1.7%
法人税等	2,164	2,255	2,245	2,658	1,945	2,117
当期純利益	3,320	1,026	6,805	6,112	3,525	375
YoY	△15.5%	△69.1%	563.3%	△10.2%	△42.3%	△89.3%
ratio	1.9%	0.6%	3.7%	3.2%	2.1%	0.2%
【連結】	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期
営業活動によるキャッシュフロー	12,967	9,880	15,388	18,358	6,042	9,693
投資活動によるキャッシュフロー	△ 14,584	△ 10,912	△ 8,819	△ 7,186	△ 12,857	△ 5,260
財務活動によるキャッシュフロー	2,297	2,191	1,562	△ 9,016	△ 112	1,633
現金及び現金同等物の増減額	388	1,020	8,287	1,716	△ 7,254	6,279
現金及び現金同等物期末残高	7,573	8,902	17,190	18,906	11,653	17,933

	(百万円)					
【連結】	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期
流動資産	54,120	56,502	67,716	65,921	58,624	67,360
（現預金）	7,639	8,968	16,789	18,566	11,681	17,947
（売掛金）	32,125	33,401	36,459	33,475	31,097	32,428
（貸倒引当金）	△ 60	△ 53	△ 46	△ 26	△ 12	△ 12
固定資産	57,985	61,538	65,572	62,141	63,869	65,527
有形固定資産	41,466	42,720	43,619	42,545	46,546	43,807
無形固定資産	804	773	839	990	1,004	1,003
投資その他の資産	15,714	18,044	21,113	18,605	16,318	20,715
（投資有価証券）	14,738	16,654	19,371	16,447	14,186	18,254
資産合計	112,105	118,041	133,289	128,063	122,493	132,887
	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期
流動負債	43,388	44,756	50,792	48,561	44,933	51,049
（買掛金）	22,727	21,647	24,552	23,440	19,801	21,052
固定負債	16,839	19,761	15,825	12,060	11,092	11,701
負債合計	60,227	64,517	66,617	60,622	56,025	62,750
株主資本	43,309	43,886	54,769	58,584	60,487	59,824
（資本金）	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640
（利益剰余金）	41,595	42,172	48,644	52,459	54,307	53,638
評価・換算差額等	7,484	8,445	10,619	7,714	4,741	8,989
純資産額	51,878	53,523	66,672	67,440	66,467	70,136
負債純資産合計	112,105	118,041	133,289	128,063	122,493	132,887
ROE	6.5%	2.0%	11.6%	9.3%	5.4%	0.6%
自己資本比率	45.3%	44.3%	49.1%	51.8%	53.3%	51.8%

【ご注意事項】

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。